

2026年度 2月1日

思考表現入試

問題 (45分)

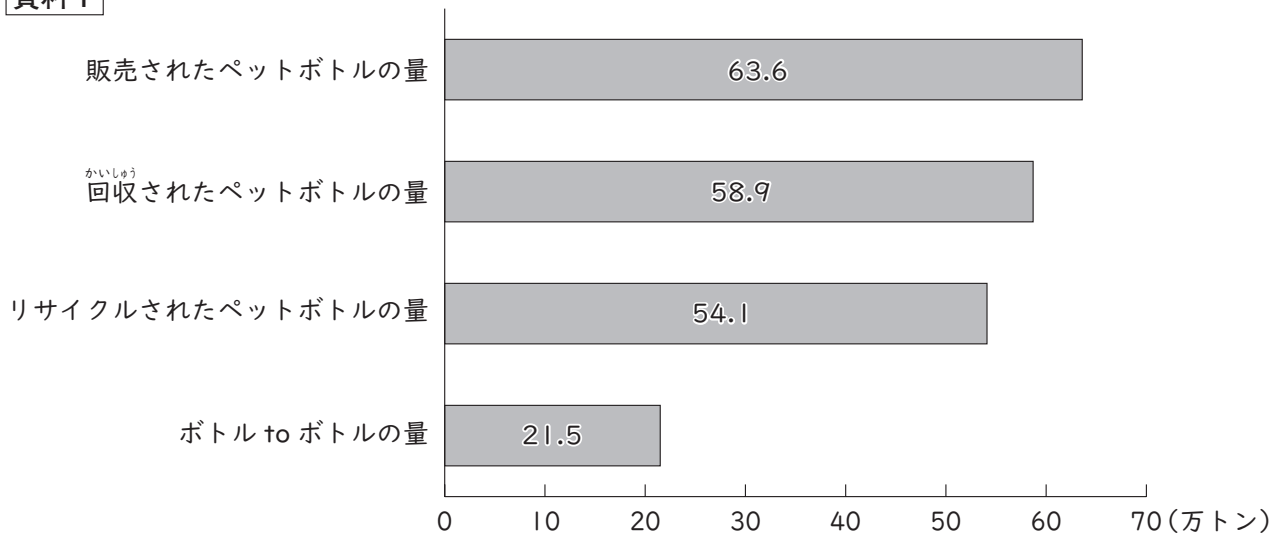
- 注意
1. 開始の合図があるまで、中を見てはいけません。
 2. 答えは、解答用紙の解答らんにはっきりと書きなさい。
 3. 解答用紙に受験番号と氏名を書きなさい。
 4. 終わりの合図があったら、とちゅうでもやめなさい。

実践女子学園中学校

次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。(会話のとちゅうに問題があります。)

先生：環境問題^{かんきょう}について学校新聞に記事をのせることになりました。まずは「リサイクル」について考えたいと思います。リサイクルしているものといえば、ペットボトルが思いうかぶと思います。資料1を見てください。これは日本における2023年度のペットボトルの販売量^{はんばい}などを示したものです。

資料1



(「PET ボトルリサイクル年次報告書 2024」から作成)

児童A：資料1中にある「ボトル to ボトル」とは何ですか。

先生：いい質問ですね。使用済みのペットボトルを原料として再びペットボトルを製造することを指しています。ペットボトルを回収したあと、きれいに洗って砕き、新しい材料にします。この新しい材料を使って新しいペットボトルにすることを「ボトル to ボトル」と呼んでいます。2023年度の「ボトル to ボトル」は販売されたペットボトルの量の約34%ですが、この割合は年々増えています。

児童B：ボトル to ボトルが年々増えているということですが、これからも増やそうとしているのですか。

先生：はい、そうです。2030年までにボトル to ボトルの割合を50%にしようとしているそうです。

児童A：どうしてボトル to ボトルの割合を上げようとしているのですか。

先生：資源の有効利用や二酸化炭素の排出をおさえるという観点から理想的なシステムだと考えられているからです。

児童B：ボトル to ボトルには、そのような利点があるのですね。逆にデメリットはあるのでしょうか。

先生：きれいに洗う必要があり手間がかかるということが挙げられますね。さらにペットボトルに異物が混入していると、場合によってはリサイクルされずに燃やされることもあります。

児童A：なるほど。きれいで異物が混入していない質のよいペットボトルを回収する必要があるのですね。

先生：そのとおりです。

問1 会話文と資料1を参考にして、次の各問いに答えなさい。

- (1) 販売されたペットボトルの量のうち、回収されなかったペットボトルの量は、何万トンか答えなさい。
- (2) リサイクルされたペットボトルの量は、販売されたペットボトルの量の約何%ですか。小数第二位を四捨五入して答えなさい。
- (3) リサイクルされたペットボトルのうち、ボトル to ボトルではない量は、回収されたペットボトルの量の約何%ですか。小数第二位を四捨五入して答えなさい。

問2 会話文中の下線部について、現在、日本の世の中にある、質のよいペットボトルを回収するためのしくみを1つ挙げなさい。また、そのしくみによって、どのように質のよいペットボトルが集められているのかを具体的に50字以上で説明しなさい。

児童A：ボトル to ボトルについてよくわかりました。ペットボトルに関してほかにどのような環境への配慮^{はいりよ}がありますか。

先生：資料2を見てください。ペットボトルの出荷本数^{しゅっか}と出荷量を示しています。これを見ると、2004年度に比べて2023年度ではペットボトルの出荷本数は約1.8倍に増えています。しかし、一方で出荷量を見ると、約1.2倍におさえることができています。このことからどのようなことがわかりますか。

資料2

| | 2004年度 | 2023年度 |
|------|---------|---------|
| 出荷本数 | 148億本 | 267億本 |
| 出荷量 | 48.2万トン | 59.5万トン |

児童B：このことから、ことがわかります。

児童A：なるほど。ことは、結果的にペットボトルをつくる時やペットボトルを運ぶときの二酸化炭素の排出量を減らすことにつながりますね。

先生：そのとおりです。

問3 会話文中の2つのに共通してあてはまることばを、20字程度で書きなさい。

先生：ペットボトルは利便性が非常に高いこともあり、年々出荷本数が増えています。ただ、ペットボトルは石油からつくられる製品で、数回リサイクルして循環^{じゅんかん}できるとしても、素材^{じゆみょう}の寿命は、金属やガラスに比べて明らかに短いのです。だから結局はごみとして燃やされることで二酸化炭素は排出されてしまいます。

児童A：リサイクルすることはとても大切だと思いますが、資料1からわかるように回収しきれていないペットボトルがあることも事実ですね。まだ公園や川などに捨て^すられているペットボトルを見かけます。

児童B：海洋プラスチックごみも問題になっていますね。

先生：そうですね。環境のことを考えるならば、リサイクルよりも、リデュース^{りゆうせん}を優先して取り組んでいく必要があると思います。

児童A：3Rの1つですね。リデュースとは、ごみを出さないことですよね。

先生：そうです。さまざまな市区町村が、3Rの中でリデュースが最も重要だととらえています。リサイクルの重要性^{みと}を認めつつも、そもそもごみを出さないリデュース^おを押し進めることが、これまで以上に必要であると説明しているのです。

問4 あなたはある市のリデュース促進課^{そくしん}の一員です。その市では、3Rの中でもリデュースを市民にすすめていこうと考えています。あなたならば、ペットボトルのリデュースをすすめるためにどのような取り組みを提案しますか。できるだけお金や手間をかけずに実行できて、効果的にペットボトルのリデュースが進む取り組みを提案しなさい。また、その取り組みがなぜ効果的なのか理由も書きなさい。提案と理由を合わせて、100字以上で説明すること。

